

「沖縄観光の危機打開策を考える緊急会議」 開催レポート

日時 2009年4月6日(月) 17:00~20:00
会場 ホテルサンパレス球陽館 2階パレスコート
参加者 行政/観光業界関係者/マスコミ等約80名
協力 日本ファシリテーション協会沖縄サロン
報告 株式会社カルティベート 平井 雅
 (沖縄観光の未来を考える会事務局次長)

◇ プログラム ◇

【ご挨拶】 沖縄観光の未来を考える会 会長 新垣安男

【第1部】 「沖縄観光特別対策事業の実施について」
 沖縄県観光振興課課長下地芳郎様

【第2部】 参加者同士の意見交換(ワールドカフェ方式)

- ワールドカフェとは、不特定多数の様々な背景を持った人々が一つのテーマについて話し合うときに、短い時間でたくさんのコミュニケーションをとることができる手法です。「会議の本当の成果は本会議場ではなく休憩時間のようなカフェ的空間で得られる」という経験と発想に基づいています。
- 1つ1つのテーブルを世界のカフェに見立てます。1テーブル5~6人で約15分~20分のおしゃべりをします。時間が来たら、テーブルを変えて(旅に出て)違うメンバーと会話を楽しみます。その際、参加者は「思い思いにコンタクト」しながら自分でしゃべったこと、人がしゃべって印象に残ったことをどんだん机の上の模造紙に思い思いに書き留めます。
- 各テーブルには“マスター(ホスト)”がいて、違うメンバーが来る度に「これまでのグループはどんな話をしてきたか」を紹介します。今回の会議では、日本ファシリテーション協会沖縄サロンのメンバーがボランティアでカフェマスターを担当してくれました。
- 今回のワールドカフェでは、3回「旅」に出た後、4回目には1番最初のメンバーと再会し、この旅で印象に残ったことを報告しあってから、それぞれがA4横置きの紙に右のサンプルのようなテーマで思うことを書き出しました。

【第3部】 意見交換の集約と次回以降の開催方針検討

- 各自が書いた紙をすべて会場後方の壁に貼りだし、全員で書かれたことを共有しました。その上で、「このような場をどうやって継続していくか」を話し合いました。



【Sample】

2009年7月までに

〇〇と協力して
□□に取り組む

2010年12月までに

中国語に対応
できる人材育成

2009年10月までに

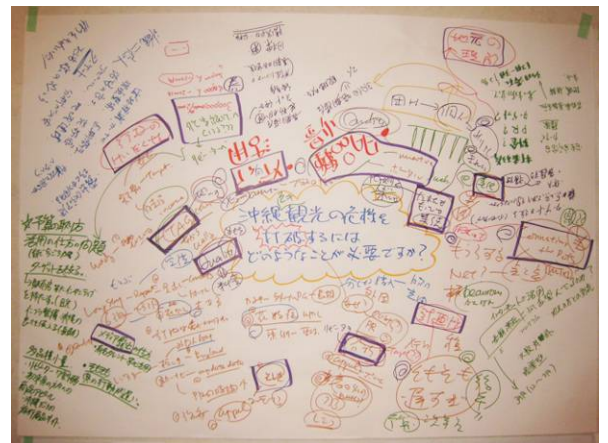
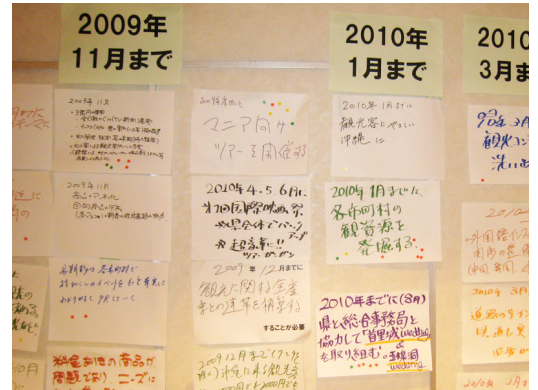
〇〇を推進する
施策を実施

2011年3月までに

△△が必要

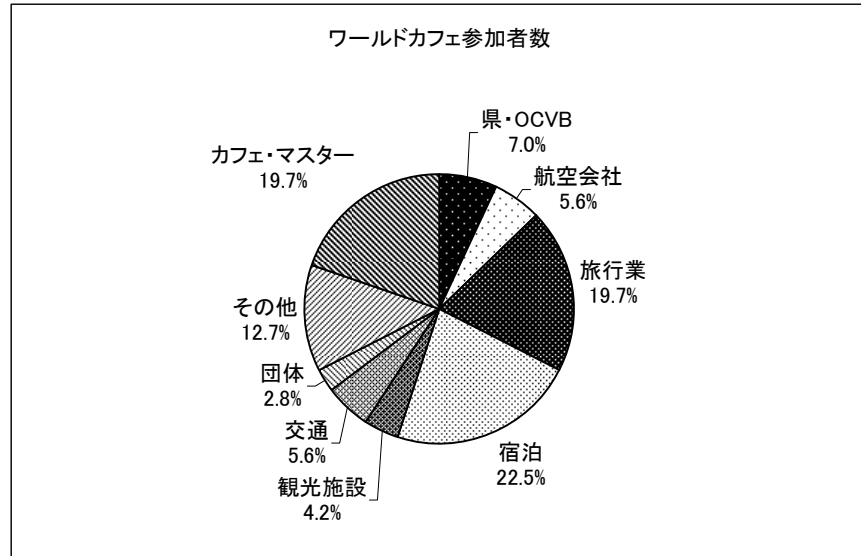


- 全員の議論の場ではなかなか意見が出にくかったですが、「短期／中長期にテーマをわけて話し合いをした方がいい」「3つぐらいに重要なテーマを絞って議論をした方がいい」といった意見が出されました。
- そこで、今後は沖縄観光の未来を考える会が音頭を取りながら具体的な議論を進めることになりました。また、重要なテーマを絞るために、張り出された紙に対し「自分が重要だと思うものにシールを貼る」という手法で投票しました。
- 沖縄観光の未来を考える会では、張り出された紙の内容と投票されたシールの数を集計しました。その際、張り出された紙そのものが1票+貼られたシールの数を票数とすることにしました。次のページ以降に集計結果をお知らせします。
- 集計に当たっては、意見の分野分けも行っていますが、書かれた文字から意図を推測した上での分類ですので、元々の趣旨とははずれてしまっている場合もありますが、あくまでも「目安」ということでご了承をお願いいたします。
- 沖縄観光の未来を考える会では、今後、より具体的に議論を進める枠組みが決まり次第、参加された皆さまをはじめ観光業界関係各位にお知らせしていく予定です。
- 以下は、テーブルで書かれた模造紙の一例です。



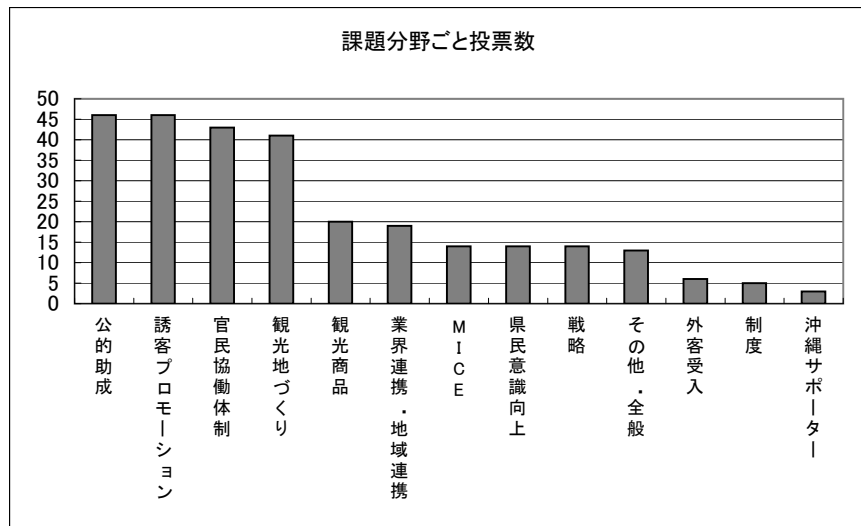
■ワールドカフェ参加者数

分野	参加者数
県・OCVB	5
航空会社	4
旅行業	14
宿泊	16
観光施設	3
交通	4
団体	2
その他	9
カフェ・マスター	14
小計	71
オブザーバー	14
合計	85



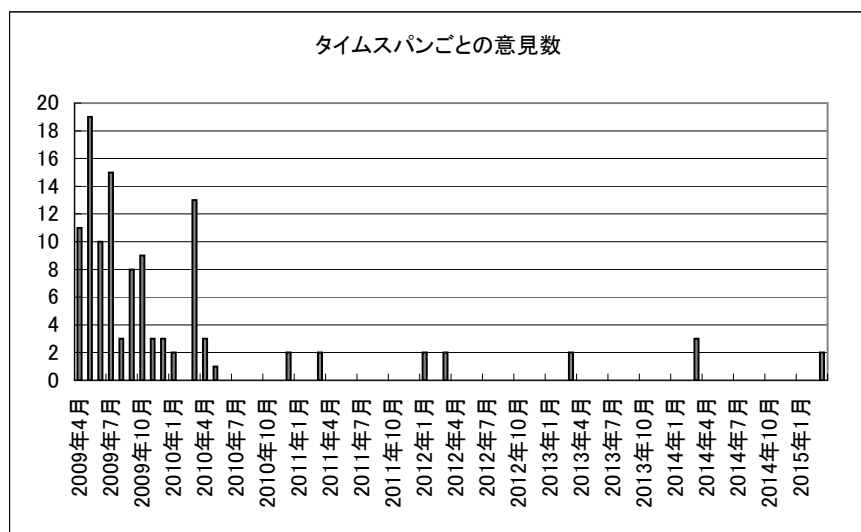
■課題分野ごと投票数

課題分野	投票数
公的助成	46
誘客プロモーション	46
官民協働体制	43
観光地づくり	41
観光商品	20
業界連携・地域連携	19
MICE	14
県民意識向上	14
戦略	14
その他・全般	13
外客受入	6
制度	5
沖縄サポーター	3



■タイムスパンごとの意見数

年月(～までに)	意見数
2009年04月	11
2009年05月	19
2009年06月	10
2009年07月	15
2009年08月	3
2009年09月	8
2009年10月	9
2009年11月	3
2009年12月	3
2010年01月	2
2010年03月	13
2010年04月	3
2010年05月	1
2010年12月	2
2011年03月	2
2012年01月	2
2012年03月	2
2013年03月	2
2014年03月	3
2015年03月	2



※「課題分野」とは、A4用紙に書かれた内容から意図を推測して大ざっぱに分類してあるので、あくまでも目安です。
 ※「投票数」とは、張り出されたA4用紙自体で1票と数え、プラス貼られたシールの数の合計で計サインしてあります。
 ※「年月」とはA4用紙に書かれた「何年何月までに」という期限を表しています。
 ※「意見数」とはA4用紙の数です。

課題分野	内容	投票数
公的助成	観光給付金を予算化しよう。	15
	航空運賃など他国内・外より安く公的インセンティブを設ける。	8
	沖縄に来る団体客へ一定額旅行代金の補てんをする。	6
	2009年下期商品の設定までにMICE顧客への助成制度を決定、実施する。	4
	打開策は今すぐに何かをやる事です。全国へ向けて沖縄出身者のアーティストをTV・ラジオ新聞で沖縄に行けば何かが出来ますよと。5億円の補助予算を県が組んでクーポンを提供する。航空会社旅行会社と提携して全国へアピールする。(クーポンは1名¥5,000)期間5月6日～5月31日まで	2
	短期的には、月を限定して航空会社と旅行会社と沖縄県が来沖のお客様にキャッシュバックして客を沖縄へ向ける事から始めた方がよい?	2
	3億円の予算使途として観光客に還元してみる	1
	7月～9月を除く沖縄に来る観光客に¥1,000でも¥2,000でも良いからキャッシュバック	1
	AIR片道 ¥5000に!!	1
	那覇AP着陸料を無くす。	1
	イベント会場へのアクセス(シャトルバス)の公的負担	1
	短期の打開策、6月に沖縄旅行券に来たお客様に¥5,000～¥10,000分のリピーター券等をプレゼントする。	1
	団体旅行誘致の為、観光給付金又は券を整備することが必要。	1
	地域振興券を作成する。	1
	来県者1名(団体)に助成金を出す。	1
	公的助成 集計	46
誘客プロモーション	県出身者を活用してメディアに沖縄の良さをアピールする。	13
	2010年春のプロモーション企画・予算化	3
	ネット(既存ポータルサイト)を活用し、コミュニティの魅力を県外に発信する仕組み作りに取り組む。	3
	2011年の沖縄観光の統一し、次テーマを決める。Ex環境×観光など	2
	ロゴマーク・キャッチフレーズを決定する。	2
	沖縄キャンペーンロゴ・キャッチを作る	2
	沖縄観光意識向上を推進したロゴマークを作る。	2
	沖縄観光誘客のキャッチコピーを作る!	2
	宮崎県知事に勝てるPR隊が欲しい	2
	新しいロゴマークの車両ステッカー・モノレールポスター・バス用告知を作成し県内メディアに広報協力依頼する。	2
	47クラブと連携して告知をする必要がある。	1
	インターネットの活用・県内イベントのPR	1
	エアラインとしての協力体制を決定し、実行する。(機内広告キャンペーン等)	1
	マスメディアの有効活用。有名芸能人を使う。	1
	沖縄CP実施をする。	1
	沖縄PR隊を募り全国キャラバンをする事が必要。	1
	沖縄の魅力をコンテンツとしてターゲットを選定しアプローチする。	1
	沖縄県親善大使を任命する必要がある。	1
	既存イベント・祭り等のタイミング良い情報発信(旅行商品の発売タイミング)	1
	県出身の著名人に『危機』を理解頂き(ノーギャラ)で観光大使を1名でも多く任命しメディアを上手く使	1
	行政を中心とした年間キャンペーンを構築(シーズンイメージ)	1
通年の広報プランを立てる。	1	
旅行代理店と協力して修学旅行の誘客に取り組む。	1	
	誘客プロモーション 集計	46
官民協働体制	県・OCVB・未来を考える会のパイプを太くし観光関連の一体化	9
	観光業界のみにならず、全ての業界の方々を含め今日のような会議を月に1回は儲ける。	5
	県(OCVB含む)業界の役割分担、具体的アクションプランの策定・実行 短期 中期 長期の視点	5
	官民協働の枠組み作りをする。	4
	県・OCVBと協力して オール沖縄で直ぐに行動する。	4
	沖縄観光の統一感を作る	2
	県・OCVB・旅行(観光)業界のサロンを作り定期的に会合を待つ	2
	今回の県の対策計画のスケジュールと内容を旅行会社・広告会社などへ協力会議をすることが必要(情報発信)	2
	今日のような会議を継続する。	2
	オール沖縄でマーケット&セールス部会を作る	1
	このようなWSの場職に行政職員も参画してもらい、協働して観光問題を真剣に考える。	1
	沖縄観光総決起大会を開く(意思の統一を図る)	1
	官民が一つの協議体として活動できる仕組み作りをし、2010年4月より実際に活動が出来るようにす	1
	官民一体となった長期的・予算の組み立て	1
	官民一体化に向けたMTGの継続	1
行政・民間一体の観光推進委員会設立	1	
本日のような協議が出来る場を複数回開く	1	
	官民協働体制 集計	43
観光地づくり	各市町村の観資源を発掘する。	8
	一般道の雑草を刈る。	7
	交通のインフラ整備・バスタクシーなど	7
	全県で電柱地中化	5
	観光客に優しい沖縄に	2
	観光立県として恥ずかしくないリフト・ハードの拡充見直しを計る。	2
	地域市町村の顔を作る。	2

課題分野	内容	投票数
	農村漁村における観光コンテンツの作成をする。	2
	綺麗な沖縄で迎えようキャンペーン！全県民清掃・毎日・週1回行う	2
	沖縄を綺麗にする。継続的なクリーンアップ作戦	1
	県と協力して車が無くても安心して旅行が出来る整備をする必要がある。	1
	道路のサイン計画を見直し実施する必要がある。	1
	那覇APの滑走路を1本増やす。(早急にインフラを整える)	1
	観光地づくり 集計	41
観光商品	2009年度内にマニア向けツアーを開催する。	7
	2010年までに県と総合事務局と協力して『首里城ウエディング』を取り組む玉泉洞ウエディング	6
	観光コンテンツを洗い出す。	3
	環境問題をテーマにした商品化。	1
	自分で見つける沖縄の旅！北から南まで全バス共通乗り放題(歩いて探そう沖縄キャンペーン)	1
	商品のマンネリ化 目的商品の作成(各マスコミの新春の琉球舞踊の協力)	1
	料金ありきの商品が問題であり、ニーズにあった質に対しての商品を設定する。	1
	観光商品 集計	20
業界連携・地域連携	未来を考える会がデレクターになる。各業界、団体の中心的存在	7
	各エリアのメニュー共有化を目指しては？	4
	長期的には各市町村で村おこしのイベントをもっと充実してわかりやすくPRしていく。	3
	地産地消の推進	2
	夏までに自分の業界内から連携 例) 共通乗車券(バス・モノレール)	1
	観光に関する全産業との連携を構築する。	1
	地域事業(近隣)とのタイアップ マップ制作 密着	1
	業界連携・地域連携 集計	19
MICE	地域連携のイベント開催毎年・・・	4
	旅行社と協力し南城市のビーチでフラダンス大会を取り組む全国のフラ教室へアプローチ	4
	沖縄県の大イベントを企画する。	2
	県全体、参加型のイベント企画(例事前にエントリーしゴルフプレーを楽しみ、期間終了時に順位を発)	2
	2010年4・5・6月に第二回国際映画祭を県全体でバックアップ。超豪華にツアーガンガン	1
	趣味のイベントで来沖の動機付け ○釣り→チヌのランキング ○ゴルフ→スコアなど期間を決めて賞	1
	MICE 集計	14
県民意識向上	県民運動としてはいさい！『島くとうば』触れ合い運動をする。	5
	長期的な県民への誘客啓蒙プロモーションが必要	3
	沖縄の歴史・文化について勉強する。	2
	玄関口の意識向上(空港)	2
	ウチナンチュー総観光大使計画キックオフ クリーン活動 挨拶はいさい！はいたい！花を植えるな	1
	県内各メディアが県民に対して『観光客の大事さ』を伝えるキャンペーンを行う。例) わナンバーに優し	1
	県民意識向上 集計	14
戦略	ターゲット(対象層強)マーケット(市場:エリア)を明確にする。	5
	ターゲット・マーケットに速効性のある対策を決定する。	4
	短期的・長期的(個人・団体・修旅)それぞれの問題点・課題の洗い出し整理	2
	来沖していない方へのアンケート実施	2
	冬場対策の立案次年度に向けての効果測定	1
	戦略 集計	14
その他・全般	3億円の使用 全国紙のCM(TV・新聞)展開 インフラ(APO・港の案内 バス等)整備。出入管理、税関などの早期(時の短縮) 個人客による観光案内への充実 路線バス・オプションツアーの商品展示 ホテルなど混載による商品化	5
	観光+企業誘致 雇用対策をトータルに取り組む仕組みを作る。	5
	沖縄の真のクオリティーは何かじっくり考える。	1
	危機を気がつかなかった！遅れた！先読み	1
	社内で明確な対策会議を行う必要がある。	1
	その他・全般 集計	13
外客受入	外国語インフォメーション関係の整備(中国語・韓国・など)	3
	外国人観光客の比率を上げる為に受け入れ態勢を整える。	1
	地域限定通訳ガイドの必要性。試験問題の簡素化 合格・の研修問題数を増やす	1
	標識・看板の外国語表記の整備	1
	外客受入 集計	6
制度	セーフティーネット資金を延長し企業(施設)の安心を助長する。	2
	沖縄観光自立の為の施策・法律整備が必要	1
	環境目的税又は、環境施設利用税を整備することが必要。	1
	年度に関わらない予算執行制必要	1
	制度 集計	5
沖縄サポーター	沖縄ファン・応援団が集うwebサイトアップ	1
	沖縄ファンによる、旅のブログを紹介。OCVBで出す。	1
	県出身の芸能人による応援メッセージをweb上に出す。出来れば、そのメッセージに賛同する一般メッセージも連なる感じで出す。	1
	沖縄サポーター 集計	3

※「課題分野」とは、A4用紙に書かれた内容から意図を推測して大ざっぱに分類してあるので、あくまでも目安です。
※「投票数」とは、張り出されたA4用紙自体で1票と数え、プラス貼られたシールの数の合計で計サインしてあります。

『沖縄観光の危機打開策を考える緊急会議09/04/06』
集約結果(時系列・分野別意見集計)

2009/4/9

年月(～まで)	内容	課題分野	投票数
2009年04月	3億円の予算使途として観光客に還元してみる	公的助成	1
	イベント会場へのアクセス(シャトルバス)の公的負担		1
	インターネットの活用・県内イベントのPR	誘客プロモーション	1
	ロゴマーク・キャッチフレーズを決定する。		2
	既存イベント・祭り等のタイミング良い情報発信(旅行商品の発売タイミング)		1
	宮崎県知事に勝てるPR隊が欲しい		2
	官民一体化に向けたMTGの継続	官民協働体制	1
	県・OCVBと協力して オール沖縄で直ぐに行動する。		4
	今回の県の対策計画のスケジュールと内容を旅行会社・広告会社などへ協力会議をすることが必要(情報発信)		2
	未来を考える会がデレクターになる。各業界、団体の中心的存在	業界連携・地域連携	7
ターゲット(対象層強)マーケット(市場:エリア)を明確にする。	戦略	5	
2009年05月	AIR片道 ¥5000に!!	公的助成	1
	観光給付金を予算化しよう。		15
	打開策は今すぐに何かをやる事です。全国へ向けて沖縄出身者のアーティストをTV・ラジオ新聞で沖縄に行けば何かが出来ますよと。5億円の補助予算を県が組んでクーポンを提供する。航空会社旅行会社と提携して全国へアピールする。(クーポンは1名¥5,000)期間5月6日～5月31日まで		2
	短期的には、月を限定して航空会社と旅行会社と沖縄県が来沖のお客様にキャッシュバックして客を沖縄へ向ける事から始めた方がよい?		2
	地域振興券を作成する。		1
	マスメディアの有効活用。有名芸能人を使う。	誘客プロモーション	1
	沖縄CP実施をする。		1
	沖縄観光誘客のキャッチコピーを作る!		2
	沖縄県親善大使を任命する必要がある。		1
	オール沖縄でマーケット&セールス部を作る	官民協働体制	1
	このようなWSの場職に行政職員も参画してもらい、協働して観光問題を真剣に考える。		1
	県・OCVB・旅行(観光)業界のサロンを作り定期的に会合を待つ		2
	沖縄を綺麗にする。継続的なクリーンアップ作戦	観光地づくり	1
	綺麗な沖縄で迎えようキャンペーン! 全県民清掃・毎日・週1回行う		2
	玄関口の意識向上(空港)	県民意識向上	2
	長期的な県民への誘客啓蒙プロモーションが必要		3
	ターゲット・マーケットに速効性のある対策を決定する。	戦略	4
	来沖していない方へのアンケート実施		2
	社内で明確な対策会議を行う必要がある。	その他・全般	1
2009年06月	短期の打開策、6月に沖縄旅行券に来たお客様に¥5,000～¥10,000分のリピーター券等をプレゼントする。	公的助成	1
	47クラブと連携して告知をする必要がある。	誘客プロモーション	1
	エアラインとしての協力体制を決定し、実行する。(機内広告キャンペーン等)		1
	沖縄PR隊を募り全国キャラバンをする事が必要。		1
	県出身の著名人に『危機』を理解頂き(ノーギャラ)で観光大使を1名でも多く任命しメディアを上手く使う		1
	沖縄観光総決起大会を開く(意思の統一を図る)	官民協働体制	1
	県(OCVB含む)業界の役割分担、具体的アクションプランの策定・実行 短期 中期 長期の視点		5
	ウチナンチュー総観光大使計画キックオフ クリーン活動 挨拶はいさい!はいたい!花を植えるなど	県民意識向上	1
	県内各メディアが県民に対して『観光客の大事さ』を伝えるキャンペーンを行う。例)わナンバーに優しく。		1
	沖縄ファン・応援団が集うwebサイトアップ	沖縄サポーター	1
2009年07月	2009年下期商品の設定までにMICE顧客への助成制度を決定、実施する。	公的助成	4
	那覇AP着陸料を無くす。		1
	沖縄に来る団体客へ一定額旅行代金の補てんをする。		6
	2010年春のプロモーション企画・予算化	誘客プロモーション	3
	ネット(既存ポータルサイト)を活用し、コミュニティの魅力を県外に発信する仕組み作りに取り組む。		3
	沖縄キャンペーンロゴ・キャッチを作る		2
	沖縄観光意識向上を推進したロゴマークを作る。		2
	県出身者を活用してメディアに沖縄の良さをアピールする。		13
	新しいロゴマークの車両ステッカー・モノレールポスター・バス用告知を作成し県内メディアに広報協力依頼する。		2
	沖縄観光の統一感を作る	官民協働体制	2
	官民協働の枠組み作りをする。		4
	観光業界のみならず、全ての業界の方々を含め今日のような会議を月に1回は儲ける。		5
	夏までに自分の業界内から連携 例)共通乗車券(バス・モノレール)	業界連携・地域連携	1
地域事業(近隣)とのタイアップ マップ制作 密着		1	
旅行社と協力し南城市のビーチでフラダンス大会を取り組む全国のフラ教室へアプローチ	MICE	4	
2009年08月	2010年までに県と総合事務局と協力して『首里城ウエディング』を取り組む玉泉洞ウエ	観光商品	6
	環境目的税又は、環境施設利用税を整備することが必要。	制度	1

年月(～までに)	内容	課題分野	投票数
	県出身の芸能人による応援メッセージをweb上に出す。出来れば、そのメッセージに賛同する一般メッセージも連なる感で出す。	沖縄サポーター	1
2009年09月	航空運賃など他国内・外より安く公的インセンティブを設ける。	公的助成	8
	団体旅行誘致の為、観光給付金又は券を整備することが必要。		1
	沖縄の魅力をコンテンツとしてターゲットを選定しアプローチする。	誘客プロモーション	1
	沖縄の歴史・文化について勉強する。	県民意識向上	2
	県民運動としてはいさい！『島くとうば』触れ合い運動をする。		5
	冬場対策の立案次年度に向けての効果測定	戦略	1
	地域限定通訳ガイドの必要性。試験問題の簡素化 合格 ・の研修問題数を増やす	外客受入	1
	沖縄ファンによる、旅のブログを紹介。OCVBで出す。	沖縄サポーター	1
2009年10月	来県者1名(団体)に助成金を出す。	公的助成	1
	2011年の沖縄観光の統一し、次テーマを決める。Ex環境×観光など	誘客プロモーション	2
	通年の広報プランを立てる。		1
	今日のような会議を継続する。	官民協働体制	2
	料金ありきの商品が問題であり、ニーズにあった質に対しての商品を設定する。	観光商品	1
	地産地消の推進	業界連携・地域連携	2
	長期的には各市町村で村おこしのイベントをもっと充実してわかりやすくPRしていく。		3
	沖縄県の大イベントを企画する。	MICE	2
	沖縄の真のクオリティーは何かじっくり考える。	その他・全般	1
2009年11月	2009年度内にマニア向けツアーを開催する。	観光商品	7
	商品のマンネリ化 目的商品の作成(各マスコミの新春の琉球舞踊の協力)		1
	3億円の使用 全国紙のCM(TV・新聞)展開 インフラ(APO・港の案内 バス等)整備。出入管理、税関などの早期(時の短縮) 個人客による観光案内への充実 路線バス・オプションツアーの商品展示 ホテルなど混載による商品化	その他・全般	5
2009年12月	7月～9月を除く沖縄に来る観光客に¥1,000でも¥2,000でも良いからキャッシュバック	公的助成	1
	環境問題をテーマにした商品化。	観光商品	1
	観光に関する全産業との連携を構築する。	業界連携・地域連携	1
2010年01月	各市町村の観資源を発掘する。	観光地づくり	8
	観光客に優しい沖縄に		2
2010年03月	旅行代理店と協力して修学旅行の誘客に取り組む。	誘客プロモーション	1
	県・OCVB・未来を考える会のパイプを太くし観光関連の一体化	官民協働体制	9
	行政・民間一体の観光推進委員会設立		1
	本日のような協議が出来る場を複数回開く		1
	地域市町村の顔を作る。	観光地づくり	2
	道路のサイン計画を見直し実施する必要がある。		1
	観光コンテンツを洗い出す。	観光商品	3
	各エリアのメニュー共有化を目指しては？	業界連携・地域連携	4
	県全体、参加型のイベント企画(例事前にエントリーしゴルフプレーを楽しみ、期間終了時に順位を発表する)	MICE	2
	趣味のイベントで来沖の動機付け ○釣り→チヌのランキング ○ゴルフ→スコアなど期間を決めて賞を出す。		1
	地域連携のイベント開催毎年・・・		4
	外国語インフォメーション関係の整備(中国語・韓国・など)	外客受入	3
	標識・看板の外国語表記の整備		1
2010年04月	官民が一つの協議体として活動できる仕組み作りをし、2010年4月より実際に活動が出来るようにする。	官民協働体制	1
	県と協力して車が無くても安心して旅行が出来る整備をする必要がある。	観光地づくり	1
	2010年4・5・6月に第二回国際映画祭を県全体でバックアップ。超豪華にツアーガンガン	MICE	1
2010年05月	交通のインフラ整備・バスタクシーなど	観光地づくり	7
2010年12月	自分で見つける沖縄の旅！ 北から南まで全バス共通乗り放題(歩いて探そう沖縄キャンペーン)	観光商品	1
	セーフティネット資金を延長し企業(施設)の安心を助長する。	制度	2
2011年03月	行政を中心とした年間キャンペーンを構築(シーズンイメージ)	誘客プロモーション	1
	農村漁村における観光コンテンツの作成をする。	観光地づくり	2
2012年01月	一般道の雑草を刈る。	観光地づくり	7
	沖縄観光自立の為の施策・法律整備が必要	制度	1
2012年03月	観光+企業誘致 雇用対策をトータルに取り組む仕組みを作る。	その他・全般	5
	年度に関わらない予算執行制必要	制度	1
2013年03月	官民一体となった長期的・予算の組み立て	官民協働体制	1
	観光立県として恥ずかしくないリフト・ハードの拡充見直しを計る。	観光地づくり	2
2014年03月	全県で電柱地中化	観光地づくり	5
	短期的・長期的(個人・団体・修旅)それぞれの問題点・課題の洗い出し整理	戦略	2
	危機を気がつかなかった！ 遅れた！ 先読み	その他・全般	1
2015年03月	那覇APの滑走路を1本増やす。(早急にインフラを整える)	観光地づくり	1
	外国人観光客の比率を上げる為に受け入れ態勢を整える。	外客受入	1

※「年月」とはA4用紙に書かれた「何年何月までに」という期限を表しています。

※「課題分野」とは、A4用紙に書かれた内容から意図を推測して大ざっぱに分類してあるので、あくまでも目安です。

※「投票数」とは、張り出されたA4用紙自体で1票と数え、プラス貼られたシールの数の合計で計サインしてあります。

#	Q1.沖縄観光の未来を考える会の会員ですか？	Q2.今日の会議の感想をお聞かせください。	Q3.沖縄観光の未来を考える会の活動に期待することがあればお聞かせください。	Q4.あなたは、沖縄観光の危機を打開するために、いつまでに何を実行できると思いますか？	業種	年代	性別
1	はい	限られた時間の中で、意見を集約することが出来た点は評価。各セッションの時間が少し短かった気がします。今後今日の意見を基に、県/OCVB/民間で具体的なスケジュールとアクションプランを作成していく事が大切だと思います。	官との連携(県/OCVB)を今まで以上に強化してください。短期/中期/長期的課題を具体的に掲げ、解決していく為の窓口としての機能も期待します。	<2009年 5月中までに>社内向け取組み(沖縄への送客強化に向けた)を具体化し、実行します。(例)☆機内誌への掲載。☆各支店(主要地区)との連携(キャラバンで訪問)	航空会社	50代	男性
2		この様な会議の手法があることに気付かせて頂いただけでも、参加できて良かった。			県内交通	40代	男性
3	はい	有意義な会議であったが、会社毎の思惑も見え隠れして？	県・OCVBへ意見を！！	<至急に>沖縄宣伝マン	旅行会社・旅連等	40代	男性
4	まだ会員ではなく入会予定もない	いろんな業種の方と意見交換させていただき、大変勉強になりました。	今後もこのような機会をつくっていただきたい。	<今年度中に>本日出した意見を基にしたプランの策定と実施	行政・観光協会	30代	
5	まだ会員ではないが入会したい	多数の意見を聞かせていただき、自分のアイデアのなさに情けないかぎりです。	県を動かす素になってもらいたいです。			40代	男性
6		このような機会は初めてだったのだが意見の集約ができて、勉強になりました。	もっと会員を観光産業関係者だけでなく広く増やしていただいて、県民の総意を形成するような活動にして欲しい。	<2011年 3月までに>全県一体となって観光まちづくりを行う。観光地、観光産業だけじゃなく県民の住むまちとして魅力あふれる沖縄をつくる。	行政・観光協会	20代	女性
7	はい	おもしろい手法でした。	県、OCVBと協働(共働)関係を築き、保つ、ディレクター的存在	<下半期 早くて夏に間に合うように>自社のやんばるの自然をいかした体験プログラムをニューツーリズムの観点で商品化する	宿泊施設	40代	女性
8	まだ会員ではなく入会予定もない	ワールドカフェ方式では、その時の人の組み合わせによって成果が違うものになるのがおもしろい	異業種のとりこみ	<2009年 7月中までに>知り合いのマスコミ関係者にロゴマークを含めた広報活動の協力依頼	その他	40代	男性
9	まだ会員ではないが入会したい	多くの知恵が出しやすい手法により、点で見ていたものが線や面になっていきそうな期待が持てました。もう少し時間が必要だと思いますが、観光業界のみならず、全ての業界を巻き込んでできればよりリアリティのあるものになると思います。	有時や平時に関わらず、沖縄を良くして行こうとする想いが大変素敵に思えます。今後観光業界だけでなく、沖縄の行動指針を示せる様な組織になって頂きたいです。	<2009年 夏まで>沖縄観光に関わる業社や行政・OCVBの連係をし、多くの議論を重ねた上で、短期、中長期の方向性を示す事は出来ると思います。	その他	30代	男性
10		有意義な会議だったと思います。			旅行会社・旅連等	40代	
11	まだ会員ではなく入会予定もない	いろんな業種の人と意見を交わすことができ、行政内部だけでない見方を知ることが出来たことはよかった。議論の方法もおもしろかった。	業界の意見の集約(の1つの窓口)	県の施策の実現	行政・観光協会	30代	男性
12		多種の職業や立場の方々が参加されて非常に参考になりました。	官(行政)に強く発言できるよう活動を頑張ってください。今後も協力して行きたいです。	即 効果のでる予選の使い方を期待したい。入城観光客か団体への旅費補てんを！	旅行会社・旅連等	40代	男性
13	はい	異業種が集い、意見交換できたことは意義深い。継続が大切なので、各テーマ、短、中、長期に分けた議論が必要。	他県や、世界のリゾート戦略を参考にしたい。専門家を招いた勉強会も行いたい	"観光"とは目的ではなく手段、沖縄が自立し、沖縄に暮らすことが価値のある幸せな生き方になるための手段の一つだと捉えて、沖縄の観光、雇用、その他の施策をトータルに考えていきたい。	その他	50代	男性
14	はい	楽しく、かつ有意義だった。いろんな立場の方の意見、発想を聴くことができてとても勉強になった。次の会議開催の決定までできたのがよかった。	今回は緊急字がきっかけでの開催になったと思うが、今後も継続的に「平時から取り組む枠組み作り」に繋げられたと思う。そのけん引約に当会が益々パワーアップして力を発揮できたらよいと思う 行政を引張るくらいに。※会員の連携、コミュニケーションがもっと必要かもしれませんが	①<2009年 6月までに>県出身有名タレント(ガレッジセール、仲間由紀恵、安室奈美恵など)に協力してもらいキャラバン隊、キャンペーン。②<200X年までに(なるべく早く!!)>航空運賃を現在の半額以下に。空港使用料その他もろもろを免除や控除、割引。	宿泊施設	40代	女性
15	まだ会員ではなく入会予定もない	色々な意見がきけたことが良かった	行政に対してどんどん意見、提案をやってほしい	<2010年 4月までに>地域と連携し、体験、交流できるテーマパーティーをやる	宿泊施設	40代	
16	はい	同業の方々だけでなく、色々な職種の方と話し合いが出来て勉強になった	今回のテーマにそった会議を増やして欲しい	<2009年 5月までに>掃除のボランティアに参加できる。これからの会議開催のお手伝いができる	旅行会社・旅連等	40代	女性
17	はい	初めての試みでよかったと思います。	具体的な部分に絞ったミーティングをお願いいたします。	<2009年 4月中に>2009年夏～冬までの個人向け、団体向けの施策ができると思います。	旅行会社・旅連等	40代	男性
18	はい	大変有意義でした	お客様とのふれあい運動を早急に取り組んでいただきたい	<2009年 9月18日(島くとうばの日)まで>ハイサイ!「島くとうば」ふれあい運動でお客様との心のふれあいを展開してほしい	宿泊施設	60代	男性
19	まだ会員ではなく入会予定もない	FAJ沖縄サロン関係でマスターとして参加。観光業界の今後について様々な意見を聞くことが出来、今後につなげてほしいと思った	継続して今後も同様な会議をしてほしい		その他	40代	男性
20	まだ会員ではないが入会したい	色々な業種の方をお話ができ、又、私が気づいていなかった事や、全然わからなかった事などを聞くことができ、勉強になりました。	1人でも多くの方々(年齢、職種問わず)の参加を増やすために、参加しやすい方法を考えてみてはどうか? セミナーや講習会という少し来にくいなど感じる方も多いと思うので、本当のカフェの様にリラックスして、観光についての話題ができるように、そしてその様な積み重ねで多くの人が"興味"を持つ事が大切。今後の会の活動に期待しております。	<2009年 12月までに>以前やっていた"1万人のエイサー踊り隊"の様なエイサーや沖縄をアピールできる人や歌などを引き連れたキャンペーンを北から南まで期間限定で各地でアピールする様にしたらどうか。(イベントの際にはその期間にももらったパンフレットを持っていくと(期限付き)特典があったりすると楽しいと思います。)	宿泊施設	40代	女性
21	まだ会員ではないが入会したい	業界の方々のいろいろな意見・感想が分かり良かった	いろいろな意見のとりまとめと、ハンドリングをお願いしたい。その為には出来る限りの協力をしたい	<2009年 夏まで>広報・広告/キャンペーンの構築	その他	40代	男性